

# 病害虫発生予察情報

## 令和3年度 病害虫発生予察情報(美濃地域) 7月予報

### 【 水稲 】

海外飛来性ウンカ類（トビイロウンカ、セジロウンカ）

JPP-NETのウンカ飛来予測システム（トビイロウンカ、セジロウンカ）によると、5月中旬～6月上旬にかけて県内への飛来の可能性が複数回観測されました。また、海津市の予察灯で、6月25日にトビイロウンカの誘殺が確認されました。本県にもすでに広域で飛来している恐れがあるため、今後の発生状況には十分注意してください。

### 【 野菜 】

トマト 灰色かび病

降雨や曇天が続くと、葉先枯れや花ガラ、ガク枯れなどの枯死部から本病は発生し、ハウス内に蔓延します。これらの部位をこまめに除去してください。

○主な病害虫の発生時期及び防除時期（7月）

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項	
			1 旬	2 旬	3 旬	4 旬	5 旬	6 旬		
水 稲	生育(コシヒカリ)	並	<幼穂形成期>						・6/15 調査 (5/10 田植：農業技術センター) ・ <b>葉いもち</b> 箱施薬を実施していないほ場では発生初期に本田防除を実施する。 ・ <b>紋枯病</b> 前年度に多発したほ場では、初発生を確認したら薬剤防除を実施する。 ・ <b>縞葉枯病</b> 感受性品種では特に注意する。 ・ <b>斑点米カメムシ類</b> カスミカメムシ類が優占する地域では出穂～穂揃期に防除を実施する。また、粒剤は商品により散布時期が異なるため注意する。	
	葉いもち	並	<発生最盛期>							
	紋枯病	並	<初発生>							
	縞葉枯病	少	<発生最盛期>							
	ヒメトビウンカ	やや少	<第2世代幼虫>		<第2世代成虫>					
	セジロウンカ	やや多	<第1世代幼虫>							
	斑点米カメムシ類	やや少	<本田侵入時期>							
	防除適期		斑点米カメムシ類：穂揃期およびその7～10日後に防除を実施する。							
	生育(ハツシモ)	並								
か き	ハマキムシ類	並	<第2世代幼虫>						・幼虫発生初期の防除を徹底する。	
	防除適期		▲ハマキムシ類(岐阜西濃・中濃)							
な し	黒星病	多							・幸水では、果実肥大期の梅雨期間に感受性が高まるため注意する。	
	防除適期		～ ▲黒星病							
も も	ナシヒメシクイ	やや少	<第2世代幼虫>						・芯折れ枝は見つけ次第剪定し除去する。 ・農薬の収穫前日数に注意する。	
	防除適期									
果 樹	カメムシ類	少	<越冬世代・新世代成虫>						・夜間の温度や湿度が高い場合は、突発的にほ場へ飛来するため注意する。	
	防除適期									
茶	生育(中ぶきた：池田)	やや早							・ <b>ハマキムシ類</b> 発蛾最盛期から7～10日後の防除を徹底する。 ・ <b>チャノホソガ</b> 発蛾最盛期と萌芽～展葉期が合致すると被害が発生するため、発蛾最盛期から10日後に防除を実施する。	
	岐阜 西濃	ハマキムシ類	並	<第2世代幼虫>						
		チャノホソガ	多	<第2世代成虫>						
	防除適期		▲ハマキムシ類		チャノホソガ ▲					
	生育(中ぶきた：白川)	やや早	二番茶>							
	中 濃	ハマキムシ類	やや少	<第2世代幼虫>						
	チャノホソガ	少	<第2世代成虫>							
防除適期		▲ハマキムシ類								

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1 旬	2 旬	3 旬	4 旬	5 旬	6 旬	
野菜・ 花き	灰色かび病	並				<発生最盛期>			・同一系統薬剤の連用は避ける（薬剤耐性および抵抗性の発達）。 ・ <u>灰色かび病</u> 葉先枯れ等の枯死部位は発生源となるため取り除く。 ・ <u>ハスモンヨトウ</u> 発生初期の防除に努める。 ・ <u>ハバコガ</u> 類 若齢幼虫期の防除を徹底する。
	アザミウマ類	並							
	ハスモンヨトウ	やや多							
	タバコガ類	並							
	ハダニ類	並							
	防除適期					～ ▲灰色かび病			

注1) ▲、▲～▲：防除適期

注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

### いもち病（葉いもち）

BLASTAM（アメダスデータを用いたいもち病感染好適条件の判定システム）によると、6月中旬以降、感染好適日が確認されています（表1参照）。感染好適日に病原菌が感染すると、おおよそ5～10日後に発病します。ほ場での発生状況に十分注意してください。



いもち病（葉いもち）

表1 2021年6月BLASTAMによるいもち病の発病条件 病害虫防除所

日付	岐阜	大垣	愛西 海津	関ヶ 原	揖斐 川	樽見 根尾	美濃	八幡	長滝 白鳥	美濃 加茂	黒川 白川	多治 見	中津 川	恵那
6/5	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
6/6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/13	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/16	-	●	-	-	-	-	-	◎	-	●	-	-	-	-
6/17	-	-	●	-	-	●	-	●	-	-	-	●	◎	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	◎	-
6/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	●	●
6/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	△	△
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-
6/25	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	●	-
6/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-

#### 凡例

- △：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は20℃未満）
- ▲：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は25℃以上）
- ：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、湿潤時間の平均気温は15～25℃の範囲外）
- ◎：準好適条件（湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとの必要な時間より短い）
- ：好適条件（湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の日平均気温の平均値が20～25℃の範囲にある）
- ：好適条件、準好適条件は満たされなかった。
- 空欄：欠測値があるため判定不可能

※感染好適条件が現れると感染し、潜伏期間（おおよそ5～10日）を経て発病します。  
 ※感染好適条件が連続して現れると、発病の可能性が高まりますので、注意してください。

### 6月～8月は「農薬危害防止期間」です。

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

### 東海地方1か月予報（名古屋地方気象台 6月24日発表）

向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並～多く、日照時間は平年並～少ない見込みです。平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767



岐阜県病害虫防除所  
トップページ  
QRコード